

平成30年3月8日

東北森林管理局 仙台森林管理署
国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター
東北育種場
宮城県 林業技術総合センター
株式会社 村井林業

早生樹の共同研究に関する協定の締結について

東北森林管理局 仙台森林管理署、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場、宮城県林業技術総合センター及び株式会社村井林業（以下「4者」という。）は、下記のとおり早生樹の共同研究を行うため協定を締結することとしましたので、お知らせします。

記

1 目的

東北地方で植栽されているスギ等は、伐採までの資本回収期間が長く、森林所有者の経営意欲低下の一因となっています。また、国内外の天然林の保護の高まり等により広葉樹資源の確保が困難となりつつあります。

このような情勢を踏まえ、初期成長が早く、伐採期間が短い「早生樹」について4者で共同研究を行い、宮城県の気候風土及び用材・薬用利用に適した早生樹造林における技術的課題の検討を促進することとしました。

2 共同研究の概要

別紙参照

3 協定の締結

- ・ 日 時：平成30年3月13日（火）14時～
- ・ 場 所：仙台森林管理署（宮城県仙台市青葉区東照宮1-15-1）会議室
- ・ 締結者：林木育種センター東北育種場長、宮城県林業技術総合センター所長、株式会社村井林業代表取締役、東北森林管理局仙台森林管理署長

※ 協定締結式は公開としていますので取材及び撮影は可能です。

（問い合わせ先）

仙台森林管理署 地域林政調整官

電話：022-273-1111 F A X：022-273-1115

(別紙)

早生樹の共同研究の概要

1 実施場所（位置図参照）

宮城県 七ヶ宿町 刈田嶽国有林 357林班る小班

（アクセス：車で白石駅から約40分、長老湖から約10分）

2 面積

1. 37 ha

3 主な研究内容

①植栽方法の検討

②保育方法（下刈、除伐等）の検討

③気象データ（気温、風速等）及び実証データ（樹高、根元径・胸高直径、枯死木本数等）の収集

④キハダに関するデータ（ベルベリン含有率等）の収集

⑤伐採木の強度測定

4 協定期間

5年間（主伐までの間、順次期間を更新）

5 主なスケジュール

・ 2017年度：協定の締結

・ 2018年度：ユリノキ、シラカンバ及びコウヨウザンの植栽

・ 2020年度：キハダの植栽

・ 2022年度：協定の第一期間（2018～2022）の総括と第二期間の対応方針の検討

※ 気象データ及び実証データは、当面の間、継続して収集。

6 対象樹種及び主な用途

・ 広葉樹：キハダ（薬用）、ユリノキ（合板、楽器）、シラカンバ（家具）

・ 針葉樹：コウヨウザン（合板、家具）

共同試験を行う 4 樹種



キハダ



コウヨウザン



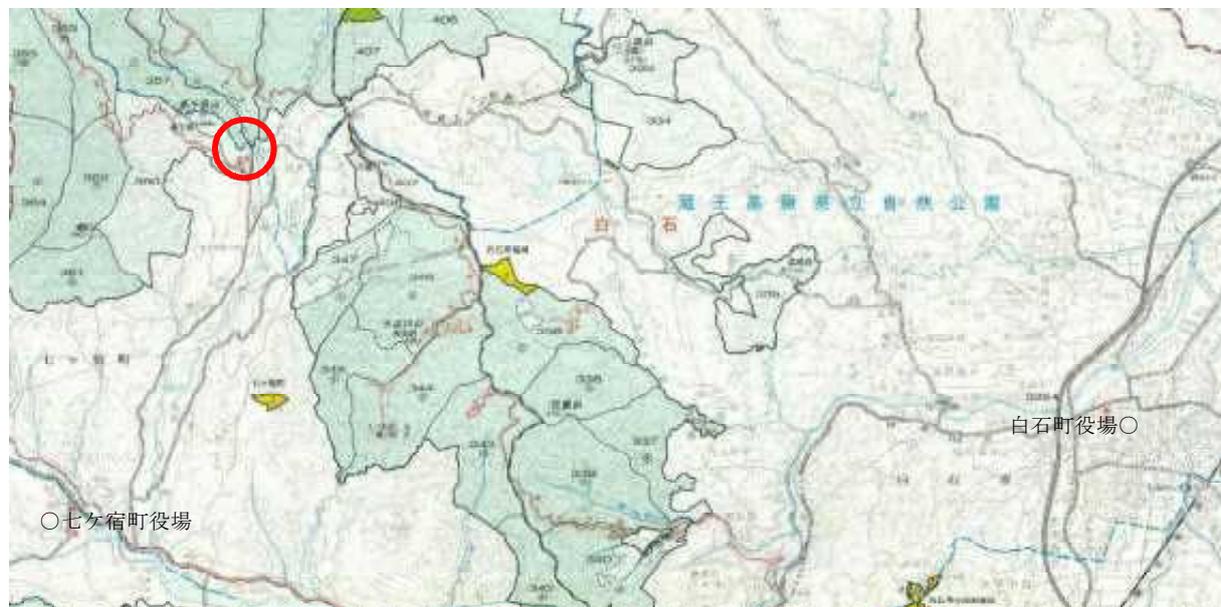
ユリノキ



シラカンバ

早生樹の共同研究箇所的位置図及び現況

○ 位置図



※赤枠内：共同研究実施場所

○ 現況写真

